

(様式6-3)

研修等 報告書

令和3年 8月 2日

三田市議会議長

様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	肥 後 淳 三	印
	議員名		
参加者氏名	肥 後 淳 三		
講演会等研修名	令和3年度市町村議会議員研修(2日間コース)第2回「自治体決算の基本と実践」～行政評価を活用した決算審査～		
研修事項	○決算の意義と審査のポイント ○決算審査実践 ○行政評価を用いた決算審査の実践		
日 時	R3年 7月28日(水曜日)～ R3年 7月29日(木曜日)		
場 所	全国市町村国際文化研修所 滋賀県太田市唐崎2丁目13-1		
所 見 (別紙でも可)	<p>受講動機は、9月に令和2年度の決算審査が近づいており、決算の意義と審査のポイントについて学ぶことでした。</p> <p>2日間の講師は、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授稲沢克祐氏。</p> <p>新型コロナ感染者数が関東圏で増加する中での開催でありましたが、全国から82名の参加があり、決算審査に対する関心の高さを伺うことができた。</p> <p>ただし、コロナ感染防止対策のために研修終了後の懇親会もなく研修所で出会った地方議員の方々とそれぞれのまちの課題等意見交換が出来なかったのは非常に残念であった。</p> <p>講義では、決算カード、類似団体の比較カードの見方、行政評価を決算審査へどのように活かすのか等学習でき、大変有益であった。 (研修概要は、別紙に記載)</p>		
添付資料	・受講証明書 ・開講オリエンテーション資料 ・資料1(2日間の次第) ・資料1～資料9 ・令和元年度三田市類似団体比較カード		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

令和3年度 市町村議会議員研修 [2日間コース]  
第2回「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」に参加して

三田市議会議員 肥後 淳三

講師：関西学院大学経営戦略研究科教授 稲沢 克祐氏

(研修概要)

## 1 決算の意義と審査のポイント

- ・人口減少・高齢社会に突入、道路インフラや公共施設は老朽化し維持管理費に多額の経費が必要となっている。国は、骨太の方針で3か年の一般財源を担保しており、人口減に伴う地方税収入の減少は、地方交付税で穴埋めすることになっている。
- ・予算と決算の位置づけは、決算審議で出された意見を翌年の予算に活かすことが原則であり、連続性で考えること。
- ・収入未済額については、要確認
- ・不用額については、行政の努力の結果としてみる。
- ・特にコロナ感染拡大に伴う事業の中止により予算執行が出来なかったものについては、不用額として年度末に落とすのではなく、補正で予算を落とし、その予算をコロナ対策に必要な事業予算に回すことが出来たのかを確認することが大切である。
- ・財産調書の普通財産については、売却が可能であり市の歳入として活用できているかを確認。
- ・予算審議との関連から審査する方法としては、①予算執行によって目指す目的が達成されたかを確認する。②予算審議における質疑が、予算執行の中で遵守されているかの確認を行う。
- ・住民目線で審査する方法としては、①予算の執行により財政状況はどうのようになったのか。②行財政改革は進めているか ③行政サービスの目的は達成されているか。
- ・決算審査については、財務数字、財産、成果の視点から分析してみる。①決算規模年度比較（コロナの影響による増加か高齢化に伴う増加かの確認②変化の主たる要因はなにか。
- ・決算収支状況の比較を①前年度比較②変化の要因を確認する。
- ・予算執行状況確認①歳入（調定額、収入額、不能欠損額、収入未済額を前年度と比較）②その変化をみる。
- ・歳出は、①支出済額、翌年度繰越額、不用額を前年度と比較②その変化をみる・また目的別、節による性質別でみる。
- ・決算額の構成比を款・項別でみる。
- ・財政構造の分析は、①歳入の構成（自主財源と依存財源の構成、経常的収入と臨時的収入の構成）②歳出の構成（歳出性質別構成）③財務比率（財政力指数、形状収支比率、経常一般財源比率や財政健全化判断比率の確認）
- ・地方債、債務負担行為の状況
- ・基金は、リスク資産により運用していないかを確認（元本保証）し、効率的な資金運用を行っているかを確認。（国東市の運用は有名である。参考にしてほしい）

## 2 決算カード・財政状況資料集を理解し分析する

- ・市町村の目的別歳出の状況は、民生費、土木費、総務費、公債費の順で少なくなる。
- ・性質別では、市町村は普通事業費が最も大きい、県は人件費が最も大きい。その理由は、教育職員の人件費を県でカバーしているため。よって目的別でも県は、教育費が土木費を上回る。
- ・財政力指数をどうみるか ⇒ 1を超えると交付税不交付団体 1に近い団体ほど普通交付税算定に当たっての「留保財源」が大きい。

三田市は、令和元年度0.57であるが、類似団体は、0.73となっており、留保財源が乏しい。

### 3 公会計制度・行政評価等を決算審査に活かす

- ・貸借対照表での資産の部、負債の部、純資産を分析することで、現金主義の決算資料には表れない資産の動きが分かる。
- ・行政評価については、総合計画の施策評価に繋げる視点から議論する。
- ・事務事業評価のA～Dについては、Cの改善評価がついて初めて予算を付けるというシステムである。投入したお金が、市民の幸せづくりにどのように結びついたのか、何を改善するのかについての議論をしてほしい。

### 4 考察

類似団体比較カードで我がまち(三田市)の未来の姿を予想してみた。

- ・標準財政規模比較では、三田市は、230億円であり、類似団体が29億円ほど多い。
- ・また、歳入、歳出総額も三田市が370億円に対して、類似団体が100億円以上も多くなっている。類似団体であれば、歳入や歳出総額も同程度の規模になるはずである。

類似団体が歳入、歳出予算が多い理由は、類似団体の交付税参入割合が高くなっており、性質別支出を見ると扶助費が三田市と比較しても大きくなっていることから、類似団体と三田市の高齢化率の違いからくるものと予想する。

- ・よって、将来の三田市では、高齢者が増加するに伴い、類似団体と同様に市の扶助費が大きくなるのではないかと予想、よって、交付税額も少しずつ多くなるのではないかとと思われる。
- ・財政構造の弾力性の指標となる経常収支比率(令和元年度)は、全国市町村で93.6%、類似団体で94.3%となっており、三田市の94.0%は類似団体と比較して若干余裕がある。

しかし、今後は、公共施設の強靱化計画の推進、クリーンセンターの建て替え、市民病院の統合による建設に伴い経常収支比率が悪化する可能性がある。

また、類似団体比較では、人件費が4.4ポイントも高いため、今後歳出抑制の課題となる化膿性がある。

さらに三田市では、ネーミングライツ等の事業で財源の確保に努めているが、「自治体は、企業ではなく利益を出すことは適当ではない」との概念を取っ払い、雑入など市で稼げる駐車場料金の設定、土地の活用は出来ているのかなどの視点で歳入の確保に取り組む必要がある。

- ・今回の研修に参加し類似団体比較の資料の読み込み方が理解できたことは、今後の決算審査に活かせるものとする。

以上

(J I A M)

令和3年7月28・29日

## 『自治体決算の基本と実践』

## 行政評価を活用した決算審査

稲沢克祐(いなざわ かつひろ) 博士(経済学) 英国勅許公共財務会計士(CPFA)

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

1959年 群馬県生 1982年 東北大学卒業

1984年 東北大学大学院教育学研究科博士課程中退

2006年4月から 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

【学会】日本地方財政学会、日本地方自治学会、日本会計研究学会  
国際公会計学会、日本公共政策学会

【専門分野】 地方財政論、行政評価論、公会計論

【著書】(太字は、本研修に関係のあるもの)

- ・「ゼロからできる 自治体の財政分析」、学陽書房、2021年
- ・「50のポイントでわかる 地方議員 予算審議・決算審査ハンドブック」、学陽書房、2018年
- ・「一番やさしい地方交付税の本」、学陽書房、2016年
- ・「自治体の財政診断と財政計画 - 決算重視による財政マネジメント」学陽書房 2013年
- ・「第3版 行政評価の導入と活用 - 予算・決算、総合計画」イマジン出版、2019年
- ・「自治体の予算編成改革」(共著)、ぎょうせい、2012年
- ・「自治体 歳入確保の実践方法」、学陽書房、2010年
- ・「自治体における公会計改革」、同文館出版、2009年
- ・「公会計(新訂版)」、同文館出版、2009年
- ・「自治体の市場化テスト」、学陽書房、2006年
- ・「英国地方政府会計改革論」、ぎょうせい、2006年

ほか

群馬県立 稲沢克祐 予算審査に因る